

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ハーモニーさんぼんぎ		公表日	令和7年6月2日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	事業所内の空き部屋を活用し、個別の空間やグループに分けての活動を行なっています。	全員で一緒に行う活動時はやや手狭さを感じる為、活動内容を工夫するとともに怪我がないように配慮する必要があります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	マンツーマンでの対応が必要な子どもがいる場合など、活動内容によっては手が足りないと感じることがあります。	子どもの状態に応じて活動内容を変更するなどし対応しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所全体がバリアフリー対応となっています。	低年齢の子ども対応の設備は不足していると感じます。補助具等で対応する必要があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃・消毒は徹底しています。活動内容によって場所を分けるなどの対応をしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		事業所内の空き部屋を有効活用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		業務を行う上での改善点などは、その都度職員間で共有し改善に向けて取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間で評価の内容を共有しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者評価は実施していません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修・法人内研修などには積極的に参加しています。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		法人ホームページ上にて公表しています。	ご家族に周知されていないので、お便り等を通して伝えていきます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日常の子どもの様子やご家族との面談等を通して、課題の把握に努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		定期的なアセスメントのほか、日常の記録から子どもの状況を知ることができるようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			各項目のねらいや支援内容を踏まえ、子ども一人一人に合わせた支援内容を設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		子どもの特性を踏まえた企画となるように、職員でアイデアを出し合っています。	

文 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		定番の活動もありますが、その内容には毎回変化があるよう工夫しています。	新し試みなどにも積極的に取り組んでいきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団を意識した目標、個人を意識した目標を設定し、活動にも取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の活動内容、役割分担等決めたくえで受け入れを行っています。	急な変更等に関してうまく連携が取れないことがあるため、改善していきたいと思ます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	支援終了後当日のうちに職員間で打ち合わせは行えていません。	翌日に日誌等の記録で確認をしたり、情報を共有するようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日の日誌に一人一人の記録を記載し、その後の支援に繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月ごとにモニタリング実施しています。ご家族や関係機関とも情報を共有しながら見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			「地域交流の活動」については公共施設の利用やイベントへの参加はしていますが、地域の人との交流は少ないと感じています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		様々な場面で、選択する・決定する機会を設けています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管の他、必要に応じて直接支援の職員も参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校から年間行事計画や送迎予定表などをいただき、間違いがないようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		利用前に事業所を訪問させていただき、子どもについての情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要な情報を提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		今後、必要に応じて研修等に参加したいと考えています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		今後、検討していきたいと思ます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時などに日々に様子などお話ししています。また、必要な方は連絡ノートなども活用しています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		今後、必要に応じて検討します。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明していますが、疑問・質問等があればその都度改めて説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成前に子ども・保護者のニーズや要望などを聞く機会を持ち、それに基づいて計画を立てるようになっています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		説明を行ったうえで、同意の署名をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談には真摯に応じ、必要に応じて関係機関への仲介もしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		現在父母の会やきょうだいを支援する会などはありませんが、今後必要があれば検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		重要事項説明書に苦情の窓口等について記載しており、契約時に説明も行っていきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月活動の様子など掲載したおたよりを発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		伝え方に工夫が必要な方への配慮は個別に行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後検討していきます。 地域の集まりなどに会場として事業所の開放を行っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは策定し、訓練も定期的実施しています。	閲覧できるようにするなど、ご家族への周知方法は検討中です。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		各種災害想定避難訓練は定期的実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬状況や発作の有無や状況など、利用開始時に確認し、変更があった場合には教えていただいています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在対象となる子どもはいませんが、ご家族から情報をいただき対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づき点検等を実施することで、安全管理に努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に説明しています。また、訓練等を実施した際はご家族にお知らせしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットに該当する事案は、報告書を作成し職員で共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルを作成し、事業所内外の研修にも参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に、「やむを得ない場合」についての定義等説明をしています。		